

2024年度 第2四半期 決算説明資料

2024年10月31日

株式会社 **モリタホールディングス**

(証券コード : 6455)

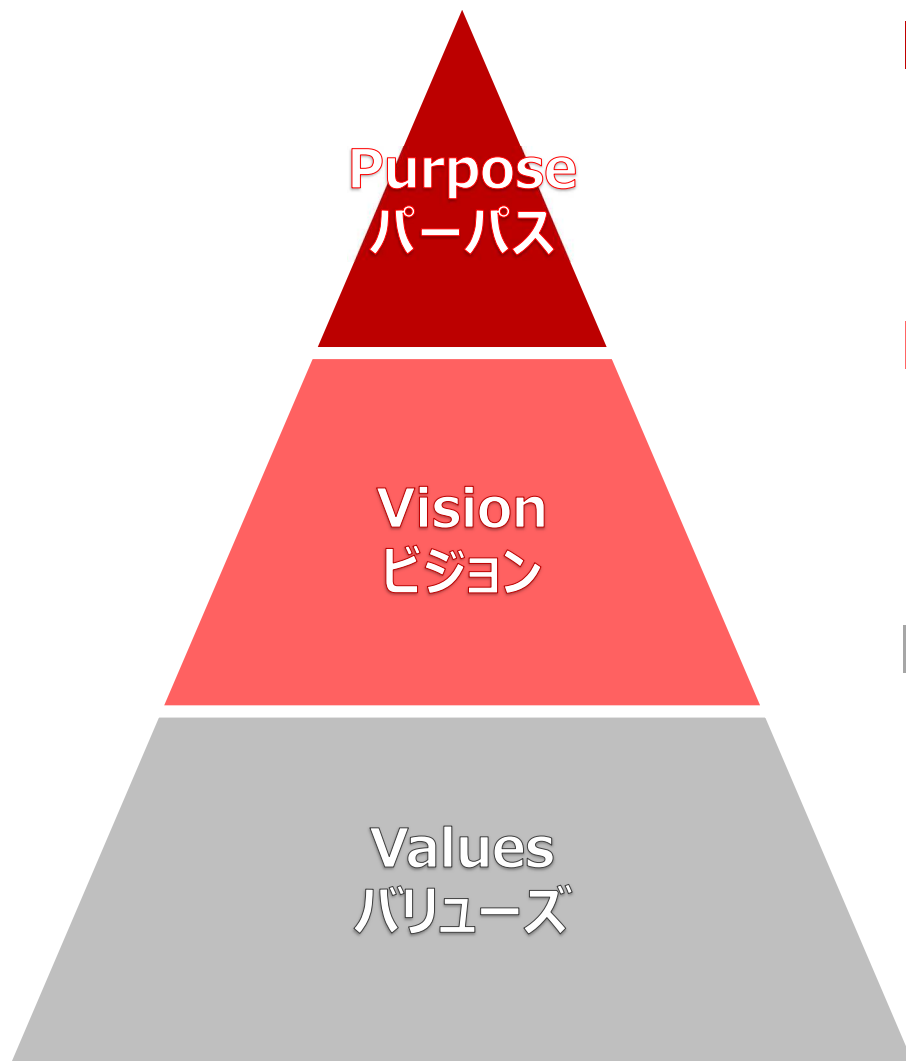
I. 会社概要

- 社 名 : 株式会社モリタホールディングス
(英文名称 : MORITA HOLDINGS CORPORATION)
- 創 業 : 1907 (明治40) 年4月23日
- 設 立 : 1932 (昭和07) 年7月23日
- 代 表 者 : 代表取締役会長兼CEO 中島 正博
代表取締役 社長執行役員 金岡 真一
- 資 本 金 : 47億4,612万円
- 連 結 売 上 高 : 952億円 [2024年3月期]
- 連 結 従 業 員 数 : 1,723名 [2024年3月31日現在]
- 連 結 子 会 社 : 13社
- 持 分 法 適 用 会 社 : 2社
- その他グループ会社 : 5社

事業概要



セグメント	消防車両事業	防災事業	産業機械事業	環境車両事業
営業品目	 	 	 	 
	消防車両 消防車両メンテナンス	消火器 消火設備	産業廃棄物処理機 リサイクルプラント 各種ごみ処理施設	衛生車 塵芥車 環境保全車両
主要事業会社	モリタ モリタテクノス Bronto Skylift	モリタ宮田工業	モリタ環境テック	モリタエコノス
売上高	544億円 (57%)	238億円 (25%)	62億円 (6%)	109億円 (11%)
営業利益	47.2億円 (50%)	32.7億円 (35%)	7.2億円 (8%)	7.5億円 (8%)



- パーパス（社会における存在理由）
「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で
人と地球のいのちを守る
- ビジョン（実現したい社会とありたい姿）
安全で住みよい豊かな社会へ貢献し
感謝され、愛される企業
- バリューズ（大切にすべき価値観）
お客様と社会からの信頼
真摯な企業経営
挑戦と成長
飽くなき革新力
多様性の尊重
自然、社会との共生

分類	マテリアリティ	関連するSDGs
事業活動に関するマテリアリティ	① 気候変動問題への取組み	 
	② 循環型社会への貢献	    
	③ 安全で安心な社会への貢献	    
	④ 絶えざる技術革新による環境価値の創出	  
	⑤ 製品の品質と安全性の追求	 
事業基盤に関するマテリアリティ	⑥ 実効性のあるコーポレートガバナンスの実践	  
	⑦ 革新力を持った人財の育成	  

Ⅱ. 2024年度 第2四半期 決算概要

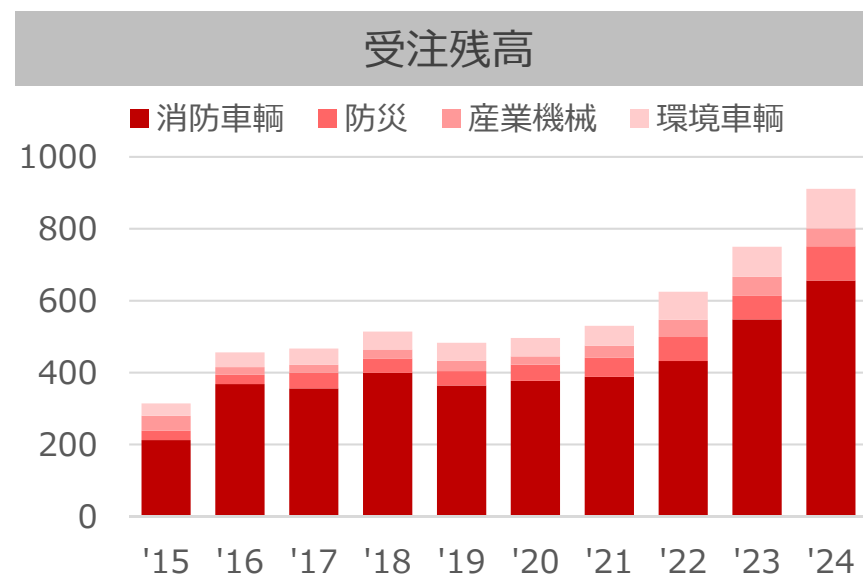
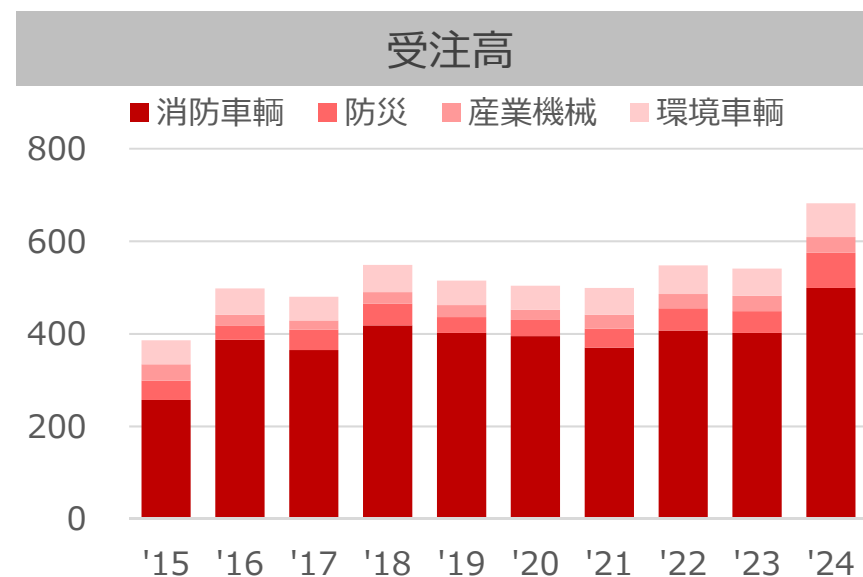
受注状況



(億円)

受注高	2022Q2 実績	2023Q2 実績	2024Q2 実績	前期比
消防車輛	407	402	499	+96
防災	48	47	76	+30
産業機械	31	33	34	+1
環境車輛	62	59	73	+15
連結	548	540	682	+142

受注残高	2022Q2 実績	2023Q2 実績	2024Q2 実績	前期比
消防車輛	432	548	656	+108
防災	67	65	95	+30
産業機械	48	53	50	-2
環境車輛	78	84	110	+25
連結	625	750	911	+161



損益計算書



(億円)

	2022Q2 実績	2023Q2 実績	2024Q2 実績	前期比
売上高	282	346	426	+80
消防車輛	125	162	225	+63
防災	84	103	117	+14
産業機械	28	29	29	+1
環境車輛	45	52	55	+3
営業利益	7	19	42	+23
消防車輛	-3	2	15	+13
防災	6	10	21	+11
産業機械	3	4	3	-1
環境車輛	2	3	3	+0
経常利益	9	20	42	+22
当期純利益	4	9	26	+17

前期比コメント

- ✓ 連結業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各々が過去最高を更新。
- ✓ 消防車輛事業は、前期にシャシ供給遅延で苦戦したBrontoが復調するとともに、国内売上も堅調に推移したことにより、大幅な増収増益。
- ✓ 防災事業は、工場向け消火設備の大型案件の工事が順調に進行したこともあり、二期連続で過去最高を更新。
- ✓ 産業機械事業は、微減益となるも、過去2番目の高水準。
- ✓ 環境車輛事業は、過去最高の期首受注残高を背景に出荷が堅調に推移。

業績予想及び配当予想の修正 (2024.10.31)



(億円)

	2023 実績	2024 前回予想	2024 今回予想	前期比	前回 予想比
売上高	952	1,000	1,100	+148	+100
消防車輛	544	578	650	+106	+72
防災	238	250	270	+32	+20
産業機械	62	62	62	+0	+0
環境車輛	109	110	118	+9	+8
営業利益	95	100	120	+25	+20
消防車輛	47	51	60	+13	+9
防災	33	34	44	+11	+10
産業機械	7	7	7	+0	+0
環境車輛	7	8	9	+1	+1
経常利益	96	105	125	+29	+20
当期純利益	60	70	84	+24	+14

前回予想比コメント

- ✓ 消防車輛事業の国内受注が堅調に推移するとともに、前期にシャシ供給遅延により低調であったBrontoが回復基調にあること、また、防災事業の消火設備の受注が好調に推移していることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を各々上回る見通し。

(円)

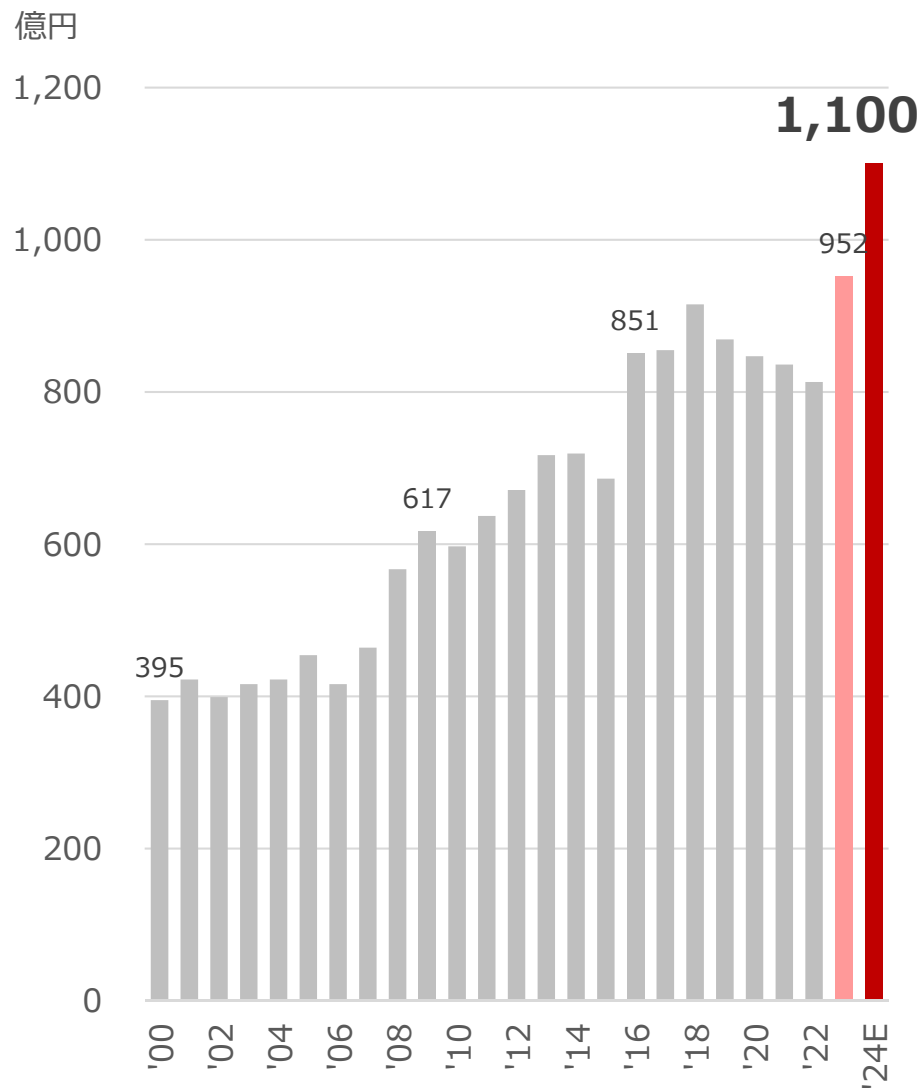
	1株当たり配当金		
	第2 四半期末	期末	合計
前回発表予想	25.00	25.00	50.00
今回修正予想		29.00	54.00
当期実績	25.00		
前期実績	24.00	24.00	48.00

Ⅲ. 基本戦略

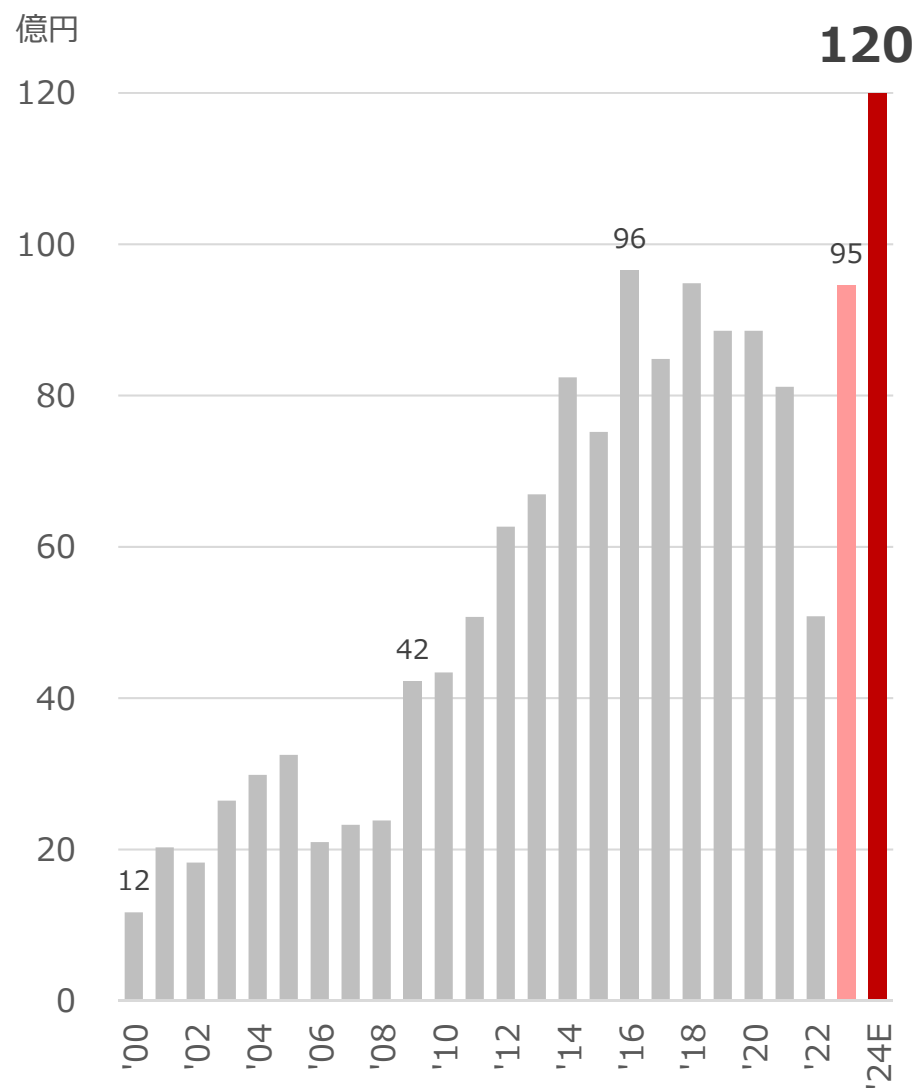
業績推移



売上高



営業利益

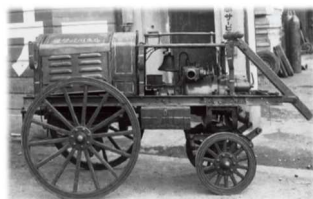


事業展開の変遷



森田正作
が創業

1907



環境車両事業
へ進出

1948



産業機械事業
へ進出

1994



Bronto Skylift
を買収

2016



日本初のガソリン・エンジン
付き消防ポンプを完成

1910



1960

防災事業
へ進出



2008

宮田工業
を買収



2022

東京証券取引所
プライム市場へ移行



マーケットシェア (2000-2023)



消防車輛
(消防車)

59%*



防災
(消火器)

36%*



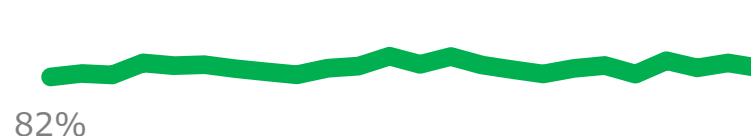
産業機械
(切断機)

74%*



環境車輛
(衛生車)

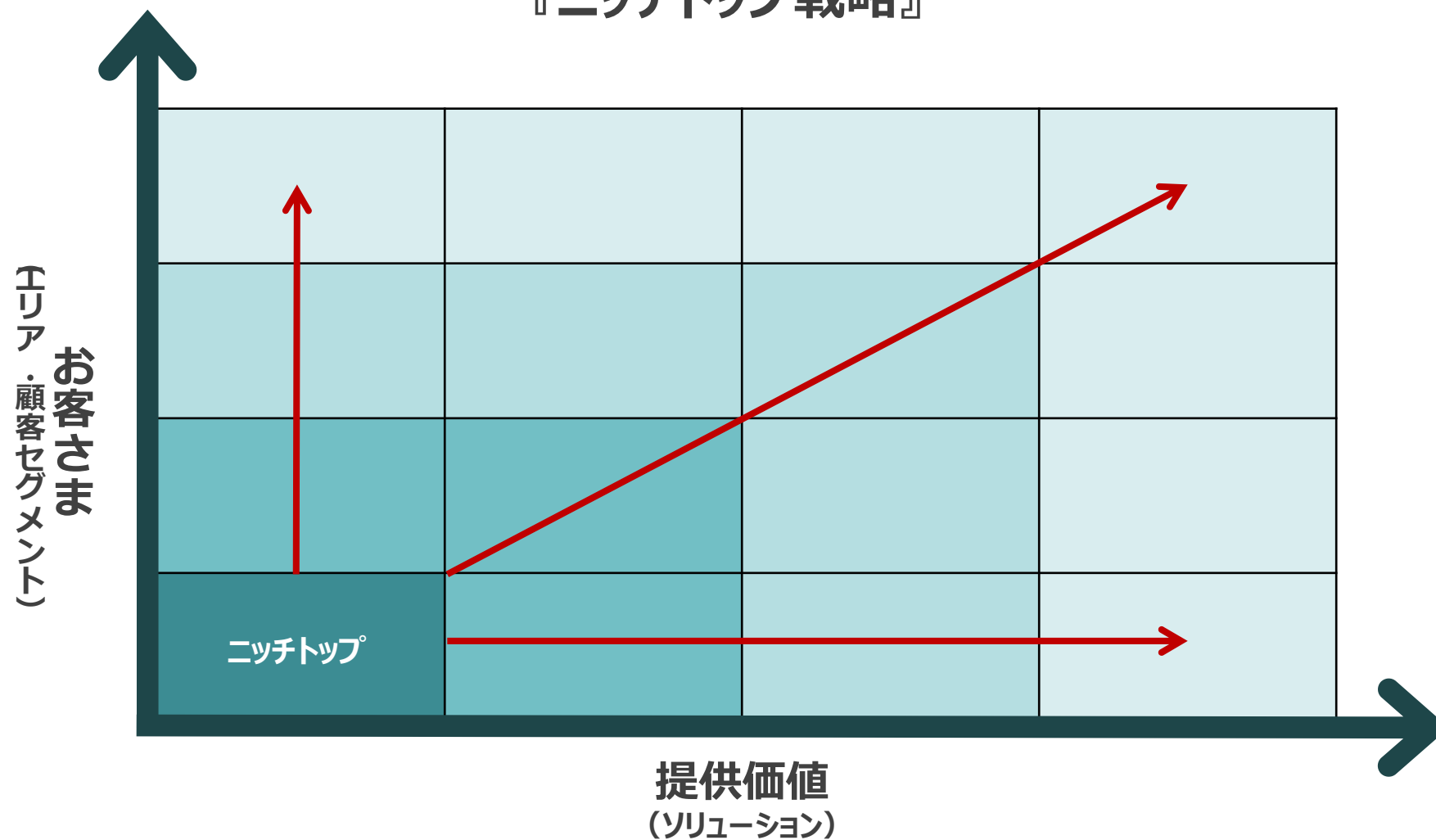
85%*



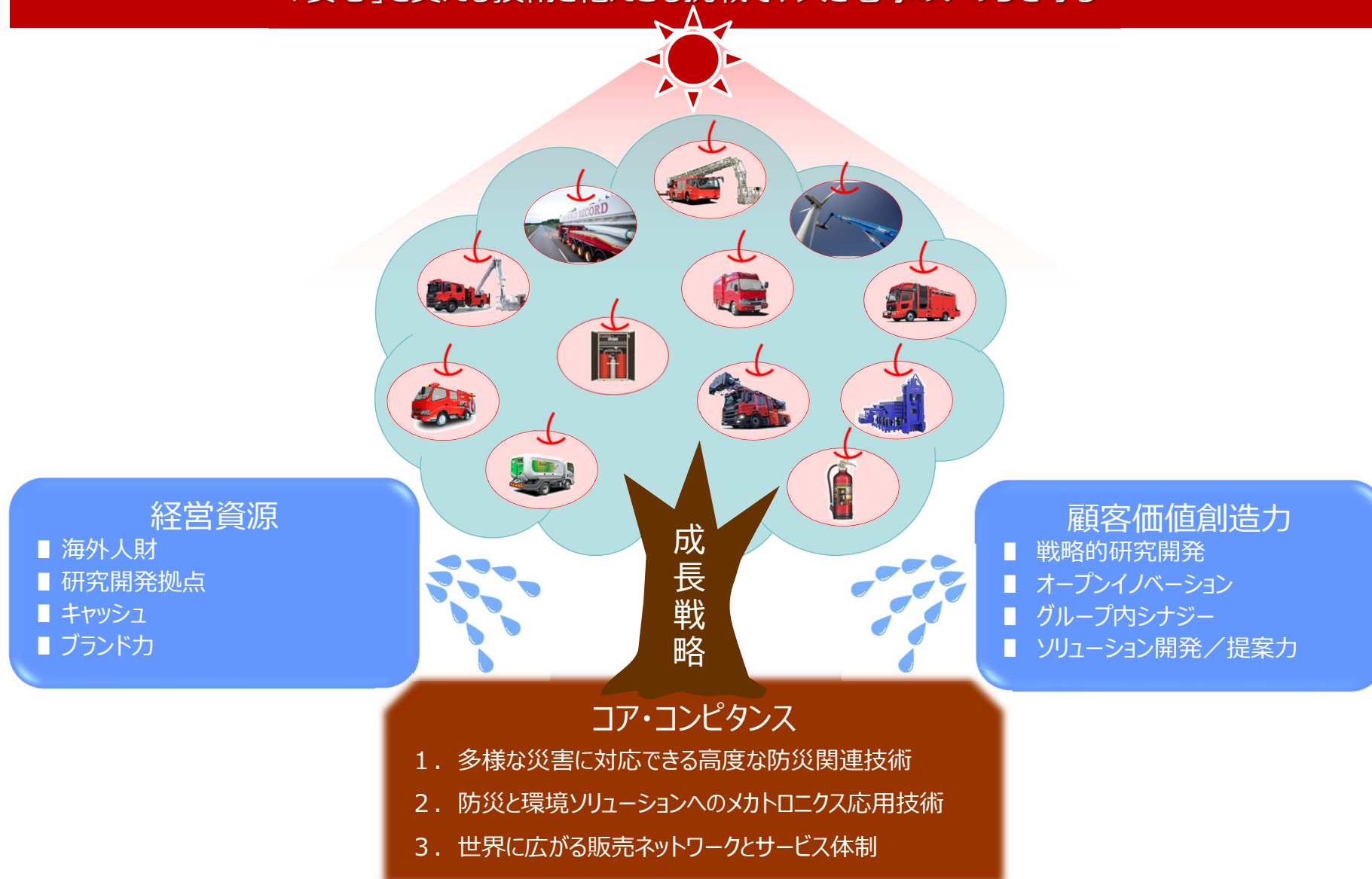
※ 自社調べ

核となるニッチトップを起点に、2つの成長ベクトルでニッチを拡大・開拓する戦略

『ニッチトップ戦略』



「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る





新研究開発拠点 **モリタATIセンター** Morita Advanced Technology Innovation Center

オープンイノベーションの推進により、世界に変わらない「安心」をお届けし、「安全で住みよい豊かな社会へ貢献し、感謝され、愛される企業」を目指します。

開発企画室 Development Planning Office

未来の防災デザイン、プロダクトデザイン分野
Future Disaster Prevention Design and Product Design Field

Sラボ Science of Fire Fighting Laboratory

消防防災、環境科学分野
Fire Prevention and Disaster Management, Environmental Science Field

Eラボ Electronics Laboratory

電子/電気機器・情報・通信分野
Electronics/Electrical Equipment, Information, and Communication Field

Mラボ Mechanics Laboratory

機械工学・材料・架装技術
Mechanical Engineering, Materials, and Fabrication Technology Fields



●日本最大級の総合実験場



●放水通路 (55m)



●構造実験室



●大型恒温槽



高さ33m (11F相当)の
防災訓練棟
はしご車等による多様な
消火・救助教育の立案・実証・新製品の開発
ならびに操作訓練(水および泡放射可能)

- 連結送水管
- 緩降機用フック
- 脱出ハッチ

1F~3F
(日本家庭用機械展示室)

- さまざまな屋根形状(仕様)
- 模擬太陽光パネル



●イノベーションホール

●カフェテリア



●電波試験室

●XRスタジオ



●ドライバーシミュレーター

●モビリティ研究室

●電子工作室/サテライトオフィス



●燃焼実験



●模擬マンション
[実火災環境(高温・濃煙)の再現と検証]



●化学実験室



●ポンプ実験室



●燃焼試験室

●機械工作室/研修室 (50名収容)

DATA

[所在地]
大阪府八尾市神武町1番43号
Tel: 072-925-4006
[敷地面積] 15,674㎡
[延床面積] 5,121㎡



EN規格対応 先端屈折式はしご付消防自動車
Loikka Aerial Ladder



Bronto Skyliftと共同開発した、EN規格(EU域内における統一規格)対応のはしご付消防自動車。相互の技術だけではなく販路も活用することで、グローバル展開を更に加速。

EV消防ポンプ自動車
MoEVius concept



ゼロエミッション、低騒音・低振動化を実現した、日本初※のEV消防ポンプ自動車。独自開発したePTO（ポンプ駆動システム）とe-Fire Pump（EV専用ポンプ）により、高いエネルギー効率を実現。



EN規格(EU域内における統一規格)に準拠した高性能ポンプユニット。あらゆるEVトラックへの消防ポンプ搭載を可能とし、EV消防ポンプ自動車の普及を推進。

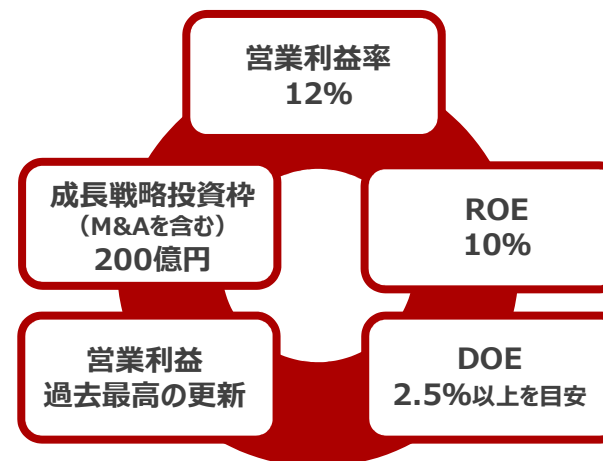
※ 2023年6月 自社調べ

グローバルな総合防災ソリューション企業へ

基本方針

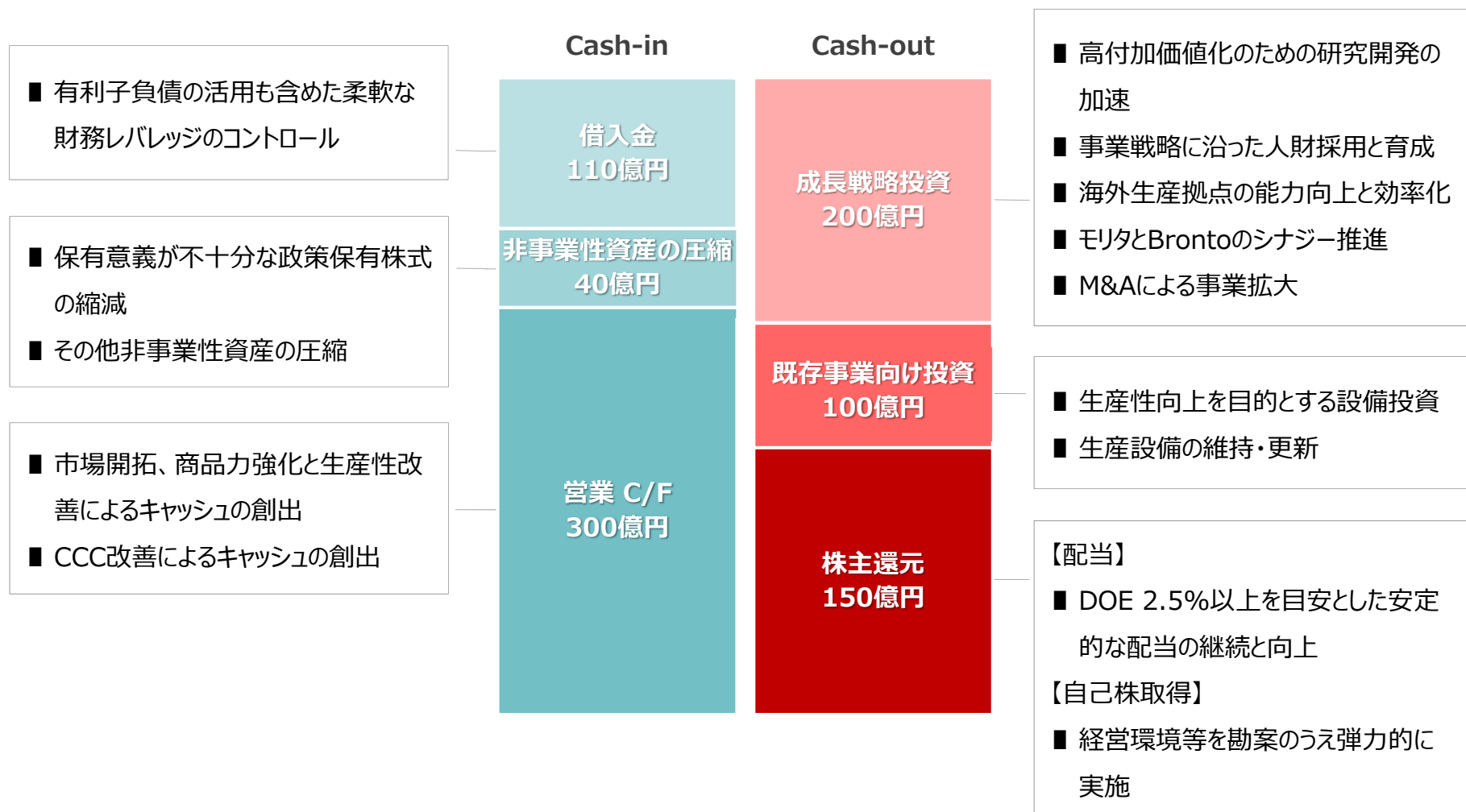
- 1 既存事業の収益力強化
- 2 海外事業・新規事業の育成、拡大
- 3 基礎研究力・新商品開発力の強化
- 4 革新力を持った人財の育成
- 5 CSR活動の推進

経営数値目標（2025年度）



Morita Reborn 2025 (2019 – 2025)

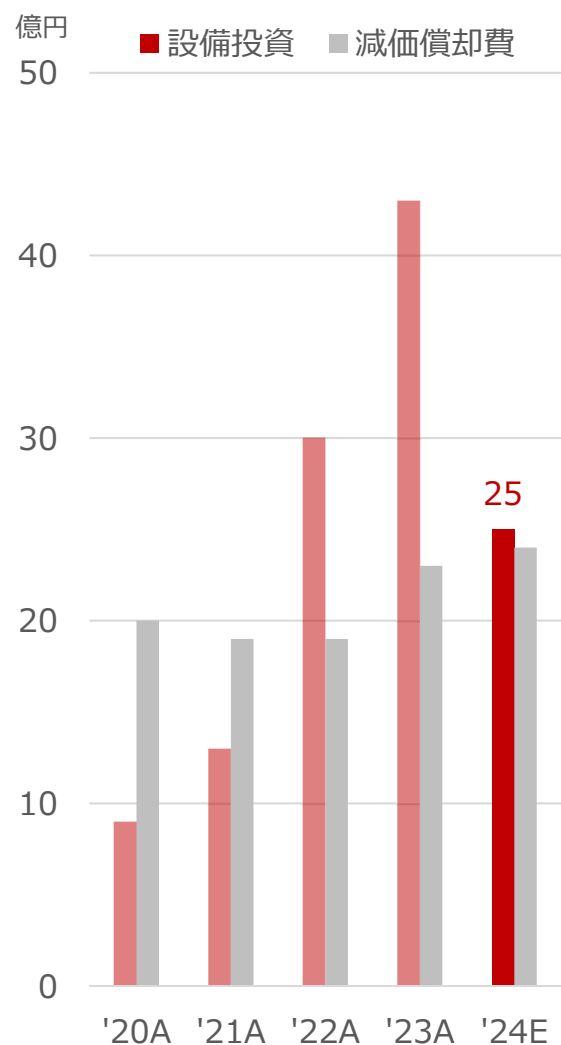
FY23-25 キャッシュアロケーション



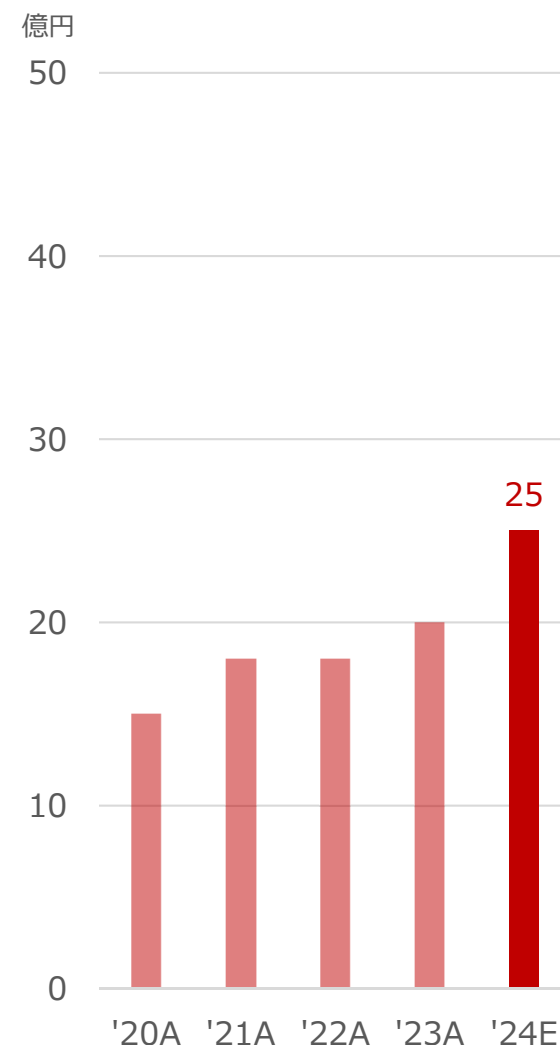
設備投資・研究開発費・配当金



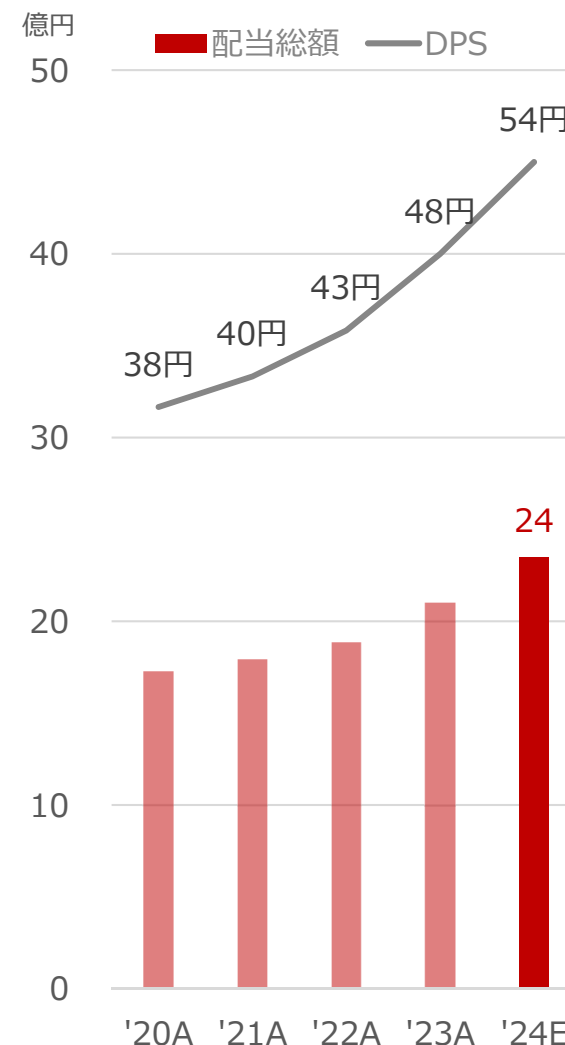
設備投資



研究開発費



配当総額/DPS



Appendix

業績推移 (第2四半期)



(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
売上高	219	204	239	240	234	219	296	275	319	317	282	270	282	346	426
消防車輛	94	67	80	86	88	77	153	137	150	159	139	119	125	162	225
防災	59	71	81	73	77	78	75	73	98	80	73	81	84	103	117
産業機械	12	18	22	22	24	17	18	16	24	26	21	24	28	29	29
環境車輛	40	33	44	46	44	47	49	49	48	51	49	46	45	52	55
自転車	13	15	12	12											
営業利益	2	5	11	10	10	15	19	10	11	14	8	3	7	19	42
消防車輛	5	1	0	3	3	4	10	6	1	6	4	-5	-3	2	15
防災	-0	4	7	4	4	5	3	1	5	2	-1	2	6	10	21
産業機械	-1	-0	1	0	0	1	-0	0	2	2	2	3	3	4	3
環境車輛	1	-0	3	4	2	5	6	2	3	4	3	3	2	3	3
自転車	-2	1	0	-1											
経常利益	3	6	12	11	12	18	21	12	14	16	10	6	9	20	42
当期純利益	-0	3	6	5	8	9	13	7	7	21	5	3	4	9	26

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
受注高	292	340	351	392	434	386	497	480	549	515	505	499	548	540	682
消防車輛	217	236	263	280	312	257	387	365	418	402	395	370	407	402	499
防災	16	30	21	24	32	42	31	44	47	34	35	41	48	47	76
産業機械	16	36	20	35	33	35	23	20	25	26	22	30	31	33	34
環境車輛	42	39	46	54	57	52	57	51	59	53	52	58	62	59	73
受注残高	255	304	304	313	347	314	456	468	514	482	495	530	625	750	911
消防車輛	211	228	241	239	266	212	368	356	399	364	377	388	432	548	656
防災	9	17	7	10	15	26	26	43	40	40	45	53	67	65	95
産業機械	22	41	36	41	33	42	21	23	25	29	23	34	48	53	50
環境車輛	13	18	19	23	33	34	41	45	50	50	51	55	78	84	110

業績推移 (通期)



(億円)

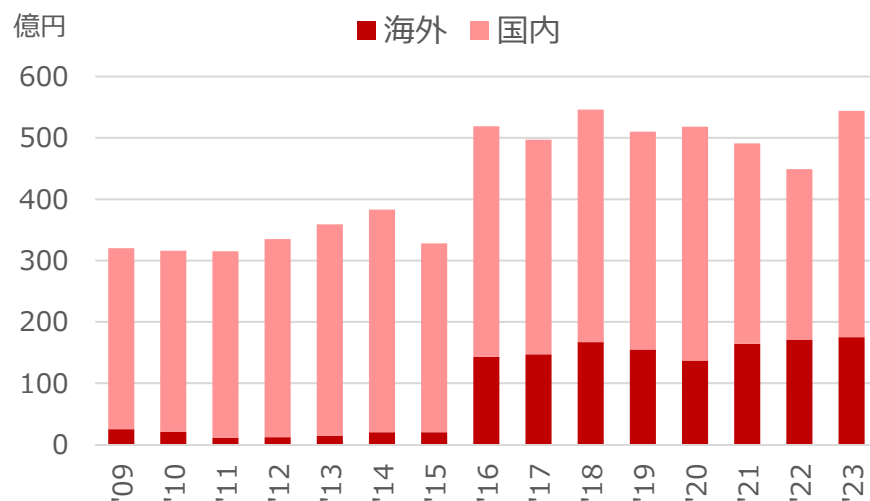
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
売上高	617	597	637	671	717	719	686	851	855	915	869	847	836	813	952
消防車輛	319	316	314	335	359	383	328	520	498	546	510	518	491	449	544
防災	143	135	163	165	174	184	199	182	213	216	198	180	194	208	238
産業機械	34	33	43	54	60	55	60	44	41	47	54	40	52	59	62
環境車輛	84	80	83	90	97	97	99	105	103	106	108	109	99	98	109
自転車	37	33	33	28	26										
営業利益	42	43	51	63	67	82	75	96	85	95	89	89	81	51	95
消防車輛	39	37	33	39	44	57	42	72	55	63	57	66	55	18	47
防災	3	6	12	15	14	15	18	12	21	21	17	10	13	20	33
産業機械	-2	-2	1	2	3	2	4	0	2	4	5	3	6	7	7
環境車輛	3	2	3	6	7	8	11	12	6	8	9	9	7	6	7
自転車	-1	-1	2	0	-1										
経常利益	45	46	53	64	70	84	81	101	90	101	93	95	88	59	96
当期純利益	20	22	28	29	35	47	45	60	57	64	70	62	54	40	60

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
受注高	498	421	495	493	554	576	546	716	718	783	738	737	755	849	874
消防車輛	349	262	296	306	344	351	303	489	471	517	494	506	481	575	577
防災	38	41	54	50	55	65	88	67	101	100	91	79	89	97	116
産業機械	27	37	58	45	56	54	52	47	46	52	45	47	69	62	59
環境車輛	85	81	87	93	99	106	103	114	100	114	108	105	115	115	122
受注残高	121	88	115	94	97	87	194	198	221	228	221	237	295	477	570
消防車輛	81	43	50	37	43	23	125	117	118	116	116	124	140	291	359
防災	10	11	10	9	9	11	20	19	39	36	37	42	49	60	74
産業機械	19	23	38	29	25	24	16	20	24	29	21	28	45	48	46
環境車輛	11	11	16	19	20	29	33	42	39	47	48	44	60	78	91

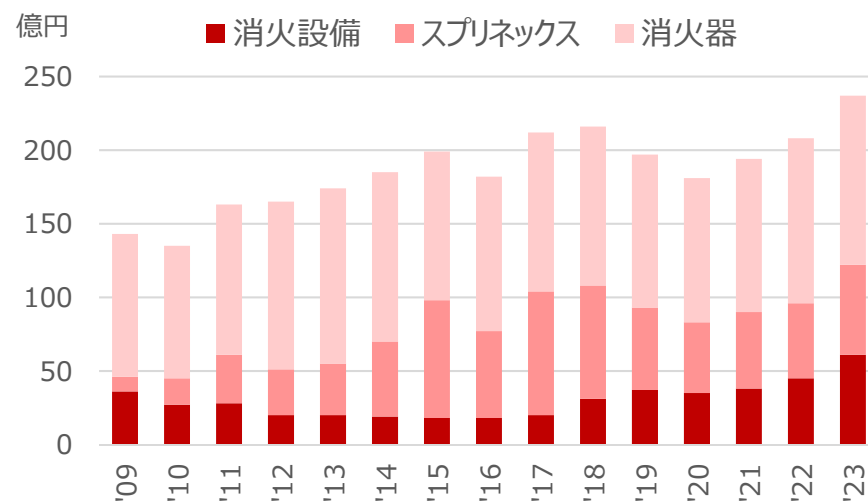
セグメント別 売上構成



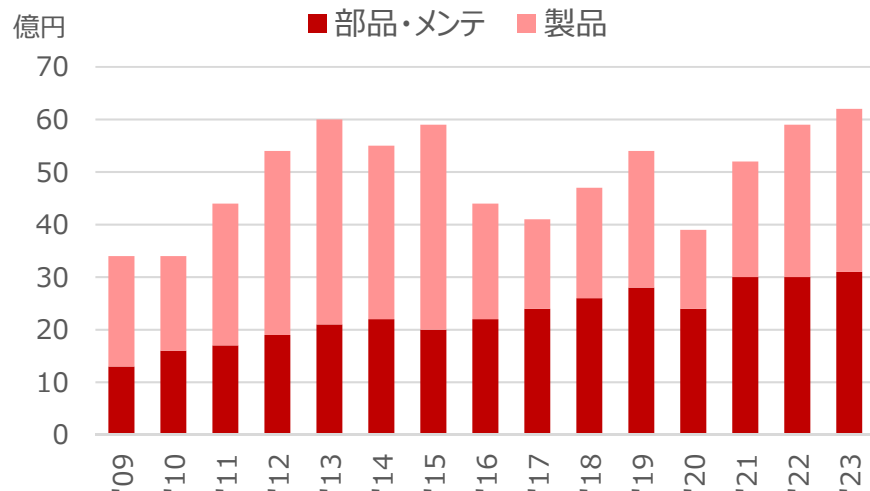
消防車両



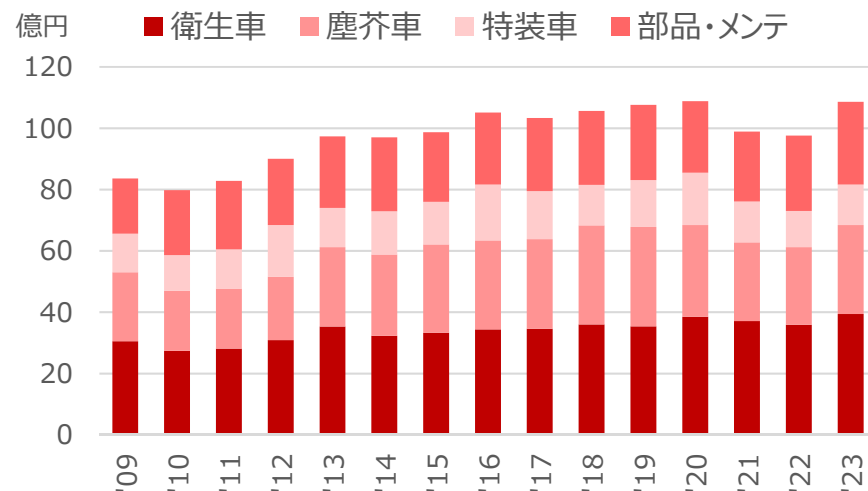
防災



産業機械



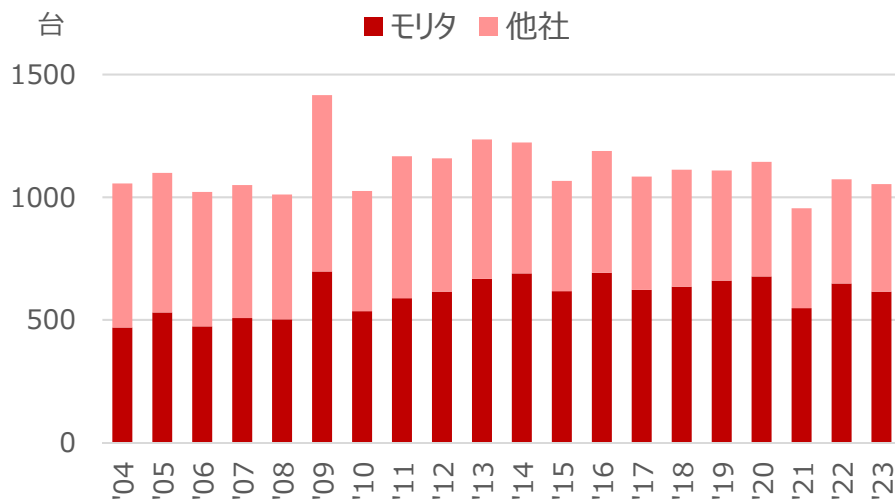
環境車両



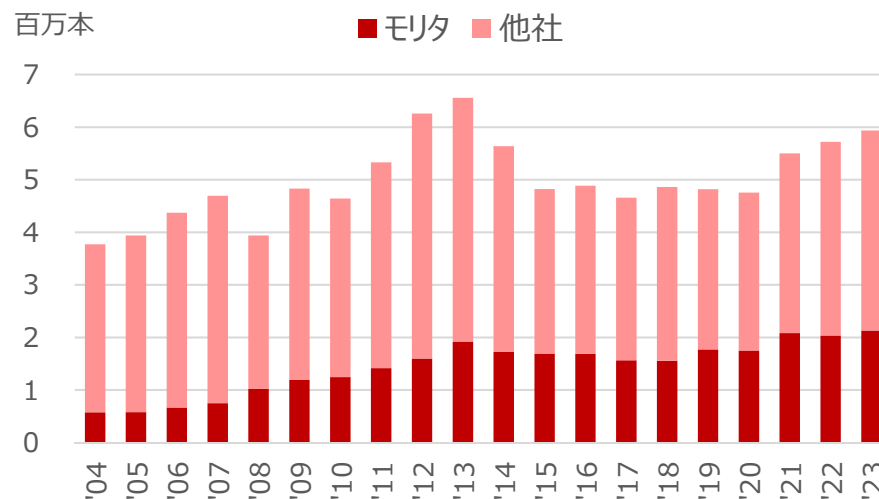
需要数量



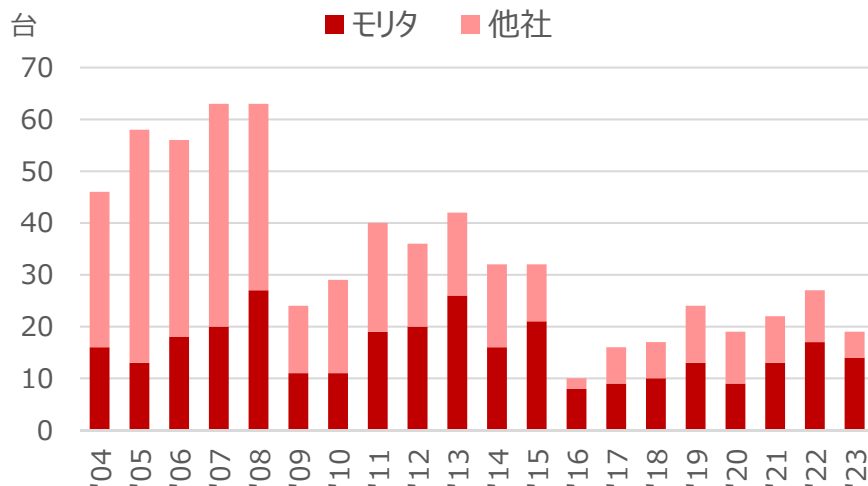
消防車



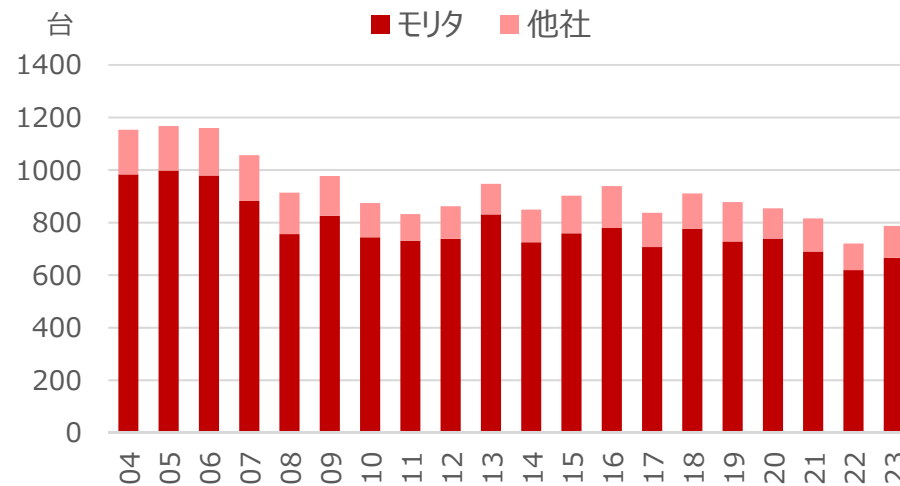
消火器



切断機



衛生車



※ 自社調べ

Bronto Skylift 概要



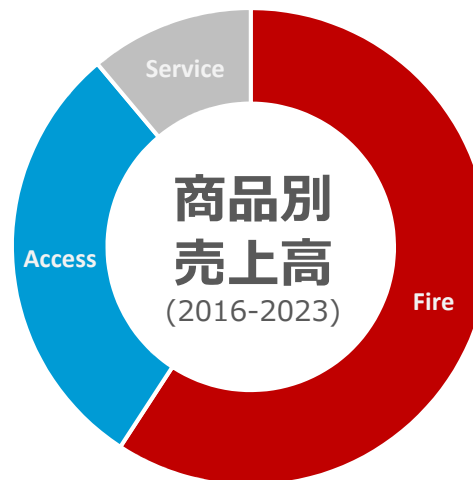
Fire & Rescue



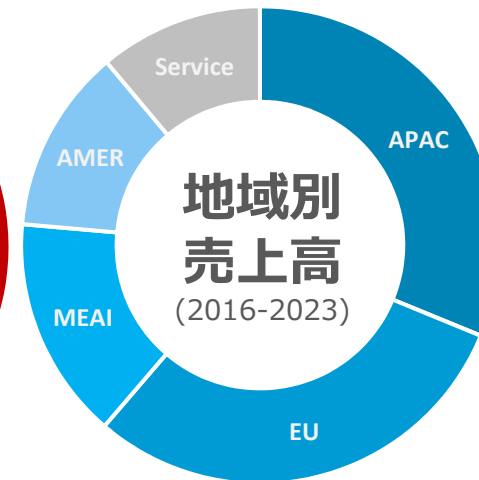
- 社 名 Bronto Skylift Oy Ab
- 所 在 地 Teerivuorenkatu 28, FI-33300 Tampere, Finland
- 設 立 1972年
- 従 業 員 数 407名 (2023年12月31日現在)
- 子 会 社 Bronto Skylift Aktiebolag (スウェーデン)
Bronto Skylift AG (スイス)
Bronto Skylift Deutschland GmbH (ドイツ)
Bronto Skylift, Inc. (アメリカ)
- 事 業 内 容 屈折はしご付消防車および高所作業車の開発・製造・販売



Access



Fire 屈折はしご付消防車
Access 高所作業車
Service サービス



APAC アジア太平洋
EU 欧州
MEAI 中東・アフリカ・インド
AMER 米州
Service サービス



Disclaimer

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測、主要市場の経済環境及び製品需給の変動等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。